来！BuRaRi
にほんばし

"来！BuRaRi"はライブラリの意味ですが、ぶらりと来てもらえる図書館に！との思いも込めています！
"にほんばし"の題字は、寄席文字書家の橘右女次（たちばなうめじ）さんによるものです。

日本橋図書館
館報
2024.3.31
(No.103)

（題字／橘右女次）

発行
中央区立日本橋図書館
中央区日本橋人形町
1-1-17
(3669)6207

数字で見る 日本橋図書館のこの一年

日本橋図書館で貸し出しされた一般書・児童書・視聴覚資料のベスト5をご紹介します。

ベストリーダー

（令和５年１月１日～令和５年12月31日）

一般書

順位	タイトル・作者	貸出回数
1位	白鳥とコウモリ／東野圭吾	121回
2位	クスノキの番人／東野圭吾	119回
3位	透明な螺旋（ガリレオ10）／東野圭吾	111回
4位	希望の糸／東野圭吾	99回
5位	マスカレード・ゲーム／東野圭吾	97回

児童書

順位	タイトル・作者	貸出回数
1位	だるまさんが／かがくいひろし	140回
2位	だるまさんの／かがくいひろし	127回
3位	しろくまちゃんのほっとけーき／絵:わかやまけん 文:わだよしおみ・森比佐志	92回
4位	だるまさんと／かがくいひろし	86回
5位	じゃあじゃあびりびり／まついのりこ	78回

視聴覚資料

順位	タイトル・アーティスト	貸出回数
1位	こども落語集～じゅげむ・時そば・初天神～／オムニバス	36回
1位	リクエストスーパーベスト／吉幾三	36回
2位	77　ミリオン／ブライアン・イーノ	35回
3位	原田知世のうたと音楽～デビュー40周年記念ベスト・アルバム	34回
4位	狂言／Ado	33回
4位	Mr.Children 2015-2021 & NOW／Mr.Children	33回
5位	中島みゆき 2020 ラスト・ツアー「結果オーライ」／中島みゆき	31回
5位	LOVE ALL SERVE ALL／藤井風	31回
5位	壱／優里	31回

永遠の星の王子さま　サ

～没後80年を記念して作家でありパイロットであ

＜出典＞
『星の王子さまのはるかな旅』山崎庸一郎／監修・文　求龍堂

サン=テグジュペリってどんな人？

サン=テグジュペリ（アントワーヌ=ド=サン=テグジュペリ）は、1900年フランス南東部リヨンに生まれました。芸術好きな母の影響を受け詩や芝居の台本を書くなど創作への情熱にあふれた少年で、14歳の時には、作文「あるシルクハットの物語」で在学中のノートルダム聖十字学院にて校内の最優秀賞を受賞するほどでした。

彼の生きた時代は、飛行機の発明、そして発展の時でした。飛行機にあこがれ、12歳の時に自宅近くの飛行場で初めて飛行機に乗ります。そして20歳で航空隊を志願し念願のパイロットになりました。しかし、1923年に墜落事故で重傷を負ったことを境にパイロットの職から離れます。同じ頃、婚約者ルイーズとの恋愛に挫折し、不遇な会社員生活が始まります。

空と恋の二重の喪失感から解放されるため小説を書きはじめ、最初の作品『飛行士』を発表します。それでも空への想いは断ち切れず、1926年に航空郵便会社のラテコエール社へ就職します。当時の飛行機は不時着事故や墜落が頻繁に起こるなど危険が多かった中、そのパイロットの経験を基に数々の小説を執筆します。

1931年にコンスエロと結婚し、彼女が相続した別荘にて執筆した『夜間飛行』はフェミナ賞を受賞します。その後、1935年に自家用機で長距離飛行レースに参加した際に墜落するも、奇跡的な生還を果たしました。

1939年に第二次世界大戦が勃発するとフランスはドイツによる実質的な占領下となり、国内は親ドイツ派と反ドイツ派に分裂します。彼は中立的な立場をとってアメリカへと渡り、1943年『星の王子さま』を出版します。戦争の終結にはアメリカの協力が必要と考え、執筆や講演を続けていましたが、「傍観者ではいられない」と開戦時に配属されていた長距離偵察飛行大隊に復帰し、再び空の舞台へ旅立ちます。そして1944年7月31日、偵察飛行に飛び立ったのを最後に、そのまま戻ることはありませんでした。

サン=テグジュペリとその作品は、散りばめられている数々の名言や、作者自身が描いた愛らしい挿絵、そして切なくも温かいストーリーにより、世界中で今なお愛され続けています。

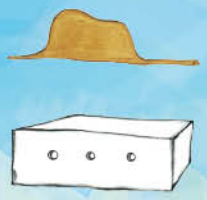
＜参考文献＞
『サン=テグジュペリ―「星の王子さま」の作者―』
（講談社火の鳥伝記文庫シリーズ）
横山三四郎／著　講談社

サン=テグジュ

西　暦	歩
1900（明治33）	6月29日フランスの
1904（明治37）	父が41歳で急死し、 モーリス城に引っ越す
1912（大正１）	夏休み、初めて飛行機
1914（大正３）	作文「あるシルクハッ ム聖十字学院にて最優
1922（大正11）	軍用機のパイロットに 第34飛行連隊に配属
1923（大正12）	墜落事故を起こし重傷 イル製造会社に就職す
1926（昭和１）	初めての作品『飛行士 会社ラテコエール社に
1927（昭和２）	ツールーズ⇔カサブラ 郵便路線を担当。アフ
1929（昭和４）	『南方郵便機』を出版 ノスアイレスに赴任。 拓する。
1931（昭和６）	コンスエロと結婚する フェミナ賞を受賞する
1935（昭和10）	長距離飛行レースの途 するが奇跡的に助かる
1936（昭和11）	新聞社の特派員として て記事を書く。
1939（昭和14）	『人間の大地』がアカ 大賞を受賞。招集され 務とする大隊に配属さ
1940（昭和15）	アメリカに渡る。翌年 の王子さま』を書き始
1943（昭和18）	『星の王子さま』を出 復帰する。
1944（昭和19）	7月31日、コルシカ島 たまま行方不明になる

ン=テグジュペリ

ったサン=テグジュペリを特集します～



ュペリ略年表

み	年齢
リヨンに生まれる。	
母方の大叔母所有のサン= 。	4歳
機に乗る。	12歳
トの物語」でノートルダ 優秀賞をとる。	14歳
になる。少尉に昇格する。 される。	22歳
務を負う。軍隊を辞めてタ する。	23歳
士」を発表する。航空郵便 パイロットとして就職する。	26歳
ランカ⇔ダカール間の航空 リカの砂漠で事故を起こす。	27歳
する。アルゼンチンのブエ 南米の航空郵便路線を開	29歳
。『夜間飛行』を出版し、 。	31歳
途中で、リビア砂漠に墜落 。	35歳
内戦のスペインを取材し	36歳
デミー=フランセーズ小説 て、長距離偵察飛行を任 される。	39歳
よりニューヨークで『星 始める。	40歳
版。長距離偵察飛行大隊に	43歳
島から偵察飛行に飛び立っ 。	44歳

サン=モーリス城
サン=テグジュペリの子ども時代の思い出がもっとも強く残っている場所。花や緑のある広大な庭で母マリは子どもたちの肖像画を描いたり、昔話などを語ってきかせた。

アントワーヌと兄弟姉妹
左から姉のマリ・マドレーヌ、妹のガブリエル、弟のフランソワ、アントワーヌ、2番目の姉のシモーヌ。1907年ごろ。

自家用機（1935年11月、講演旅行で訪れたダマスカスで、シムーン機とともに。）
1935年、パリ⇔サイゴン間長距離飛行レースの途中でリビア砂漠に墜落。事故の模様を発表した新聞記事が大評判になった。
一番左がサン=テグジュペリ。

コルシカ島の石碑
石碑に刻まれた文
「コルシカ島は、1944年7月31日、作家兼飛行家、ド=サン=テグジュペリがここから戦争の最後の任務のために飛び立ったことを忘れない」

<出典・参考資料>
『星の王子さまのはるかな旅』
山崎庸一郎／監修・文　求龍堂

サン＝テグジュペリをもっと知りたいと思ったあなたへ
── 図書館員おすすめの本をご紹介 ──

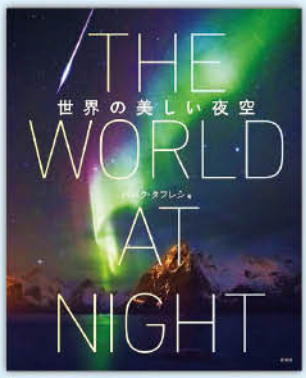
『最終飛行』
佐藤賢一／著　文藝春秋　2021

サン＝テグジュペリが主人公の歴史小説です。第二次世界大戦下にパイロットとして活躍した際の臨場感ある飛行シーンや、彼を取り巻く人間模様が魅力的に描かれています。作家であると共に、パイロットであった彼の人柄と世界観に引き込まれる一冊です。

フランス人にとって身近な国民的作家であるサン＝テグジュペリの晩年を見事に表現しています。いざ、ラストフライトへ。

『地図でスッと頭に入るフランス』
ジュリ・ブランシャン・フジタ／監修　昭文社　2023

フランスの歴史や文化、各地域の観光名所や郷土料理等が地図やイラストを使って紹介されています。地域を代表する人物紹介は、俳優や作家、スポーツ選手、偉人などジャンルを問わずバラエティー豊かで発見の多い一冊です。サン＝テグジュペリの故郷リヨンや他地域を本の中で巡ってみてはいかがでしょうか。史跡や風景の写真も多く、美しいフランスに魅了されます。



『世界の美しい夜空』
ババク・タフレシ／著　片神貴子／訳　玄光社　2020

20カ国の精鋭写真家が撮る美しい夜空の数々が掲載された写真集です。世界遺産や遺跡などに広がる夜の空を手に取ってご覧ください。

6大陸、40カ国にわたる美しい夜空がキラキラと輝きを放っています。写真の他、世界の天文台の紹介や夜の風景写真の撮影方法も必見です。少年時代から飛行機に憧れていたサン＝テグジュペリが操縦席から見た夜空、砂漠で見上げた星空をふと感じる一冊です。

『星の王子さまとサン＝テグジュペリ
ー空と人を愛した作家のすべてー』　河出書房新社　2013

本書では様々な分野の執筆陣が各々の視点で『星の王子さま』をはじめとしたその他の作品、そしてサン＝テグジュペリの人となりを語っています。参加しているのは作家や文学者だけでなく、ジャーナリスト、登山家、パイロットなど多岐にわたります。

『星の王子さま』だけではないサン＝テグジュペリの魅力ある生涯に迫ってみませんか。

シリーズ企画

日本橋地区の寺・神社　其の十八

新高野山大安楽寺（高野山真言宗）

中央区日本橋小伝馬町3番地5号

大安楽寺は木造の弘法大師坐像がご本尊として祀られているお寺です。本堂には他に金剛界大日如来坐像、不動明王坐像、十一面観世音菩薩立像、地蔵菩薩立像、大黒天像が安置されています。また、十一面観世音菩薩は江戸三十三観音札所第五番のご本尊になっています。

歴史・由来

江戸時代、大安楽寺付近一帯には江戸伝馬町牢屋敷がありました。明治維新後、この牢屋敷跡に東京府が小游園を設置しましたが市民から敬遠されてしまいます。その後、新興財閥の大倉喜八郎と安田善次郎が払い下げを受けて借地としましたが、不浄の地として借手が付きませんでした。明治初年（1868）、麻布五大山不動院の住職である山科俊海大僧正は浅草への行きがかりに小伝馬町処刑場跡にて、燐火が燃えているのをたびたび目にしました。その弔う者のない無縁の霊魂を慰め、牢跡をもって浄地とし、近隣に繁栄をもたらそうと寺院建立を東京府庁に請願されたのが創建の由来です。明治8年（1875）から都内に勧進してまわり、同15年（1882）11月ついに建立され、紀州高野山金剛峯寺から弘法大師像を迎えて御本尊としました。この時、俊海和尚の徳を慕い、浄業に賛同して発願者となった大倉氏と安田氏の頭文字を取り、楽の字を加えて大安楽寺と名付けられました。境内には山岡鉄舟が書いた「為囚死群霊離苦得脱」の青銅の額をかけた延命地蔵尊を祀り、その他に八臂弁財天、福徳大黒天、不動明王、十一面観世音菩薩、大日如来等を奉安し、諸堂伽藍を整備しました。

大正12年（1923）の関東大震災で諸堂伽藍と福徳大黒天像は焼失してしまいましたが、他像は難を逃れました。香川英良大僧正は復興を悲願し、昭和4年（1929）11月に鉄筋様式の現在の寺院（本堂・弁天堂・書院および庫裡）が再建されます。

第二次大戦中はかろうじて戦火を免れました。現在では毎年11月23日に、刑死者・殉難者の慰霊と平和祈願を併せ、特に子どもの息災延命祈願をする延命地蔵尊会が行われており、多くの信仰を集めています。

（参考文献）
『江戸三十三観音ガイド－みぢかな出会い－（CityCultureシリーズ）』　文化図書　2010年
『中央区史　下巻』　東京都中央区役所／編　東京都中央区役所　1958年
『中央区の文化財4　有形民俗文化財－信仰－』　中央区教育委員会社会教育課文化係／編　中央区教育委員会　1981年
『日本橋小伝馬町周辺今昔史－古老聞き書き語り部による記録－』　日本橋小伝馬町二の部町会／編　日本橋小伝馬町二の部町会　1981年
『日本橋トポグラフィ事典　地誌編　旧日本橋区町名の沿革・由来』　日本橋トポグラフィ事典編集委員会／編　たる出版　2007年
『日本橋二之部町会史－町のいしずえ－』　日本橋二之部町会連合会／編　日本橋二之部町会連合会　1966年

謝辞
大安楽寺のご住職様には、歴史・由来等についてご協力をいただき、感謝申し上げます。

最近の行事より

第16回中央区まるごとミュージアム2023
ブックコート体験　令和5年11月5日に実施

中央区まるごとミュージアムのイベントとして開催しました。図書館の本は、特殊なフィルムで保護コーティングされています。ブックコート体験参加者の方には、持参されたご自身の本に同様のコーティングをして頂きました。完成品に満足そうに微笑む姿が多く見られました。

バリアフリー映画鑑賞会『赤毛のアン』
令和5年12月16日に実施

12月4日～10日の人権週間に伴い毎年12月に実施しているバリアフリー映画鑑賞会です。視覚障がい者用音声ガイドと聴覚障がい者用字幕をつけて上映しました。障がいの有無に関わらずどなたでもお楽しみ頂けます。今回は読書補助用品のリーディングトラッカー、リーディングルーペなどを会場内に置き、上映前後にお試し頂きました。カウンターにて館内貸出しておりますので、ぜひご利用ください。

・・・特集展示・・・

7階展示コーナー

『ノスタルジック時間旅行～昭和・平成～』

令和5年12月30日～令和6年2月21日

写真集から小説まで「昭和・平成」をテーマに、当時を懐かしく思いおこさせる本や、象徴する出来事をあつかった本を展示しました。壁面の掲示では、各年代の流行語と中央区、日本橋の写真を紹介しました。また、「みんなのノスタルジア」コーナーでは、図書館スタッフが郷愁をおぼえる本などの展示とともに、利用者の皆様から懐かしい本やCDのタイトルを募集しました。多くの方の声を壁面にて紹介させていただき、皆様と一緒に作り上げた展示となりました。

編集後記

『夜間飛行』を初めて読みましたが、夜空を飛ぶ描写に引き込まれました。今年のオリンピック、パラリンピックはフランス、パリでの開催です。星の王子さまやサン＝テグジュペリに触れる機会が増えるかもしれませんね。ぜひ図書館でもサン ＝ テグジュペリの作品をお楽しみください。